

学校生活の仕切り直し ～6月1日 学校再開、授業開始～

3月の臨時休業期間も含めると約3か月という、今までにない長期にわたる臨時休業となりましたが、6月1日から学校の教育活動を再開することができました。

最近、県内の新型コロナウイルスの新規感染がほとんどありません。しかし、まだまだ新たな感染拡大に予断を許さない状況であり、感染への不安が解消された訳ではありません。また、これからは暑さも厳しくなり、熱中症にも注意が必要となります。

そんな状況を踏まえ、新型コロナウイルスへの感染予防に注意を払いながら、当面2週間は生徒のみなさんは午前午後に分かれての分散登校を行います。徐々に学校生活のリズムに慣れていってほしいと思います。

4月、5月の2か月は、1年生にとっては新たな高校生活のスタート、2年生にとっては新学年のスタート、3年生にとっては高校生活を締めくくる最終学年のスタートとなる大切な2か月です。6月からの学校の再開にあたり、これからの時間を最大限に活かして教職員が一丸となって教育活動に取り組んでいきます。一緒にがんばっていきましょう。

【まずは学校生活の再スタートが第一】

久しぶりの学校生活です。楽しみである一方、みなさん中には長い休みのあとの学校生活が不安になったり、気分が落ち込んだりする人があるかもしれません。臨時休業中の各教科の学習課題が思ったように進まず悩んでいる人もいるかもしれません。

そんな時は遠慮せずに担任の先生、学年の先生、教科の先生、養護の先生など、どの先生でもいいから遠慮なく相談してください。もちろん校長室でもOKです。集団生活や社会生活を送る中では、自分の思ったとおりにうまくいかないことや自分一人では解決できないことがたくさんあります。そんな時、ほかの人に上手に相談できることも必要です。「困っています」、「どうにもなりません」、「手伝ってください」とSOSが出せることは、大切なコミュニケーションの力です。

みなさんが学校生活を順調に再スタートできるよう全力でサポートします。

【自主的な家庭学習の継続を】

長期休業中、みなさんは自分で計画を立てながら自主的に学習に取り組まなければなりませんでしたが、しかし、計画は立てたけど計画通りにはいかなかったり、つつい楽な方に流されてしまったりで、自主的に取り組むことの難しさを改めて感じた人も多かったことと思います。自分自身を客観的に見つめ、自分で自分の行動を管理することはとても難しいことです。でも、それは将来みなさんが社会に出た時に必ず必要になります。

今回の臨時休校を契機に、自主的に家庭学習に取り組めるようになったという人が増えればとてもうれしいことです。勉強を進めていく中で、難しい問題や分からないところが必ずあります。そこであきらめずに、自分で調べたり先生に質問したりしながら自主的に学習を進めることができれば、学力は必ず伸びます。

高校時代に、「自分で考える力、考えたことを実行する力」や「自分で計画を作って、それを着実に実行する強い意志」を身につけることができれば、それはみなさんにとって一生の宝物となります。

校長 高橋 信之